

奈良北地区

奈良北地区は青葉区の北西部にあり、1971年に入居が始まったUR都市機構の賃貸住宅です。連合自治会や地区社会福祉協議会が中心となり、夏まつり、サロン、福祉バザー等の活動を長く続けています。初期に入居した子ども世代が巣立ち、現在は高齢化率(65歳～)が50%以上を占めています。お互いが助け合い、楽しく安心して住み続けられる団地を目指しています。



地区内の町丁目 奈良町(一部)

第4期計画の振り返り

- 若い世代や外国人が少人数だが地域活動に参画している。
- 読みやすい広報・ポスターを作り、イベントの参加者が増えてきている。
- イベント参加が外出・つながり・話す機会・自治会加入のきっかけになっている。
- 外国語版ゴミ出し案内の作成やイベント設営の外注化など、時勢に沿った取組ができています。
- 防災の取組がコロナ禍で減ったままになっている。



推進会議の主なメンバー

連合自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、家庭防災員、環境事業推進委員、老人クラブ、防犯指導員、ボランティア団体、UR都市機構
担当地域ケアプラザ：奈良地域ケアプラザ

地域で行われている活動



夏祭り



ふれあいサロン



グラウンドゴルフ大会

めざしたいまちの姿

世代や文化をこえて、 お互いに助けあい、 楽しく安心して暮らせる団地

目標1 子どもから高齢者まで、緩やかなつながり・交流をつくろう!

取組

- みんなが気軽に笑顔であいさつし、声をかけあう
- 日ごろの活動や行事に誘い合い、お互いを知る
- 高齢者や外国人が参加しやすい場を作る
- 趣味や特技を生かした交流のきっかけを作る

目標2 若い世代や転入者に声を掛け、地域の活動者を増やそう!

取組

- 転入者へ団地内のスポット・居場所や団体活動を紹介する
- 近隣の学校・大学等と連携した取組で地域活動者を増やす
- WEBやSNS等による若い世代向けの声掛けツールを作る
- 新しいサークル活動を自治会・地区社協・UR都市機構を含めた団地全体で支援する

目標3 住民や団体の連携・分担で、災害時も含めた安心をつくろう!

取組

- 定期的に活動団体の情報交換・共有ができる場を作る
- 日常の挨拶や活動を通じて、自治会・地区社協・UR都市機構を含めた団地全体で緩やかに高齢者等を見守る
- 高齢者が多い団地の特性に合わせた防災活動を学び、取り組む
- 奈良小地域防災拠点と連携・分担した防災活動に取り組む